

平成23年8月23日から25日の飛騨地方の降雨における 岩屋ダムの洪水調節効果（速報）

岩屋ダムの上流では、秋雨前線の停滞により、8月20日から25日までに累計約416mmの降雨を観測しました。

この降雨により、ダムへの流入量が洪水流量(300m³/s)を超え、23日の8時50分には最大で約676m³/sの水がダムに流れ込み、貯水位が4.16m上昇し、洪水調節のため約1,690万m³の水を貯め込みました。

今回の降雨は、8月のダム地点での降雨記録を更新する管理開始以来最大の降雨となりました。

平成23年8月30日



独立行政法人 水資源機構
岩屋ダム管理所

発表記者クラブ

中日新聞社萩原通信局
岐阜新聞社下呂支局
読売新聞社下呂通信部
朝日新聞社岐阜東部支局
毎日新聞社高山通信部

問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 岩屋ダム管理所
住 所：岐阜県下呂市金山町卯野原6-27
電 話：0576-35-2339（代表）

平成23年8月23日から25日の飛騨地方の降雨における
岩屋ダムの洪水調節効果（速報）

1. 概要

秋雨前線の停滞により、木曾川水系馬瀬川の岩屋ダムの流域では、20日15時から25日20時にかけて、累計約416mmの降雨を観測しました。

（1時間最大：25日11時約25mm、3時間最大：23日6時から8時まで約54mm）

この降雨により、ダムへの流入量が別添図のように洪水流量(300m³/s)を超え、最大で約676m³/s（23日8時50分）の水がダムに流れ込みました。

この洪水により岩屋ダムの貯水位は、EL. 406.92m（洪水調節開始時）から最大411.08m（洪水調節終了時）まで4.16m上昇し、およそ1,690万m³の水をダムに貯め込みました。

注）ダム地点での洪水流量とは、①ダム下流河川の無害流量（河川に影響がない流量）、②1年に1～3回程度発生する流量などにより、各ダムごとに決められた水量です。ダムへの流入量がこの「洪水流量」を超えると洪水調節を行います。

2. 雨量

流域平均総雨量約416mm 降り始めからの累計値

8月20日15時から8月25日20時まで

ダム地点総雨量約413mm 降り始めからの累計値

8月20日18時から8月25日13時まで

※ 岩屋ダム管理開始の翌年（1978年）から昨年（2010年）までのダム地点における8月の平均雨量は286mmですので、今回の降雨（20日から25日の5日間）で例年の1ヶ月分を超える雨が降ったこととなり、月間の記録としても8月の降雨としては、既に管理開始以来の降雨記録を更新するものとなっています。

3. 岩屋ダム洪水調節量

最大流入量	23日8時50分	約676m ³ /s
最大流入時ダム放流量		約79m ³ /s
洪水調節量(最大流入時)		約597m ³ /s

注）今回の発表は速報値であり、今後の調査により数値等が変わることがあります。

岩屋ダム洪水調節 [平成23年8月23～25日洪水]

